

2020年11月5日 OBPM ユーザー会

テーマ別トラックまとめ

4. メンバートラック

メンバートラック【PL、ユーザー向け】

ファシリテータ：住永 紘一、亀井 良成

- 本トラックにご参加の皆様から事前に頂いたアンケートを元に、ご意見が多かったお悩みについて解説させていただきました。

■品質状況の確認方法

- **PJメニュー>進捗報告管理** でチェック頂くのはもちろん、個人単位では **メインメニュー>未完了チケット一覧** で、課題や障害状況をご確認頂けます。

※検索にて「人単位」「PJ単位」等の一覧をご覧頂くことも可能です。

- また、**PJメニュー>テスト予定実績管理** を利用致します。工程を選択した上で、テストの予実績を入力、確認することが出来ます。さらに、障害の予実績も管理することが可能で、別画面で登録される障害情報を自動的に集計し、実績値としてご覧頂くことが出来ます。そしてこの画面では、タブの切り替えによってグラフ化が可能です。

■細かいタスクの管理方法

- **PJメニュー>ガントチャート>明細別管理にチェック⇒ガントチャート画面左下の「明細選択」**では、事前にマスタ類で設定できる明細(タスク)を取捨選択でき、対象の配下に選んだタスクを追加できる。

- 進捗管理や工数入力の対象にはならないタスク(TODO)の管理

PJメニュー>ガントチャート>サブ明細>「新規」リンク

こちらでタスク(TODO)登録ができる。対応者、実施時期と完了/未完了が分かるようになる。

※メインメニュー>チケット(TODO)一覧 にももちろんリンクしています。

■便利な機能

基本的な機能をご利用頂いた上で、改めてご紹介させて頂きたい名機能を上げさせて頂きました。

「ドキュメント管理」

- **メインメニュー>PJドキュメント管理** にて 保管先パスを記入できます。また、**PJメニュー>工程タスク成果物** でも管理が可能です。運用上捨てられないエクセル等も一元管理する為に、便利な機能です。

「ガントチャート>汎用項目の活用事例」

- **PJメニュー>ガントチャート>汎用項目(表形式の一番右列)**

数値項目を2つ。テキスト項目を1つを持っています。

※デフォルトでは「計画数量(数値)」「実績数量(数値)」「備考(テキスト)」になっていることが多い。

汎用項目は「**メインメニュー>計画プロセス>各種マスタ設定>コード区分:ガントチャート項目(任意設定)**」にて変更が可能です。

活用事例として、システム開発プログラミング用の「予定ステップ数」「実績ステップ数」のような名称に変えて利用されています。

ガントチャートのタスクに合わせて、特定の数値を分析する場合にご利用頂けます。

「リソースヒストグラムの作り方」

- **PJメニュー>リソースヒストグラム**にて最初から作成頂く方法の他に

PJメニュー>ガントチャートにて、対応メンバや計画工数もご入力の上、計画を立てて頂けますと

リソースヒストグラム画面の「**計画工数より算出**」というボタンで、ガントチャートの計画情報をリソースヒストグラムに落とし込むことができます。

お客様の運用に合わせて、柔軟にリソース計画ができます。

■Verの耳寄りな情報

現在開発中のOBPMver6にて改善予定の機能を一部ではありますが、開発中画面をご覧頂きながらご紹介させて頂きました。

「ラベル(画面固定の)名称」

- サーバに入っている定義ファイルの変更することで、ラベル名称を変更できるようになる予定です。

「工数入力画面」

- (ガントチャート画面と同じように)工程やタスク等の階層が開閉できる予定です。

「添付ファイルのアップロード」

- 従来のファイルを選択する方法に加えドラック&ドロップで添付できる予定です。

「ガントチャート」

①WBS フィルタ

- 文字検索が行えるようになり、その文字を含むタスクだけ表示できる予定です。

②列の項目並び替え

- 作業予定日や、汎用項目等の列をドラック & ドロップで並び変え、変更後の並びを保持できる予定です。

※現在の ver5.6 では、並び替えは可能ですが保持ができない為、一度画面を閉じると初期配置に戻るようになっております。